

白方の風

【学校教育目標】自ら学び考え、心豊かで
健やかに生きる児童の育成

令和7年度
No.1
東海村立白方
小学校
2025.4.7
児童数 450人

保護者の皆様、地域の皆様、昨年度に引き続き、どうぞよろしくお願ひいたします。

本年度も、「すべての子どもの生命・健康、学びを保障して、可能性を引き出し、自分と、みんなが幸せや生きがいを感じながら生きることができる社会をつくる資質・能力を育む。」という学校教育の理念をもとに、上記目標達成へ向けて、教職員一同精一杯取り組んで参りますのでご支援ご協力をお願いいたします。

現在世界は日々変化し、多種多様な問題や課題があります。そこで児童が今後、様々な問題や課題を他者と協力して解決しながら生きていくことができるよう、重点目標は、すべての子どもが安心できる学校づくりを通して、〔自分で考え、判断して、行動できる力の育成（自立）〕、〔互いを思いやり協力する心の育成（協働）〕、〔よさを生かし助け合う態度の育成（自己肯定感）〕を目指して参ります。特に、今年1年間は、「児童が自分で考え、行動できるようにする。」※行動（考えを伝える・問題や課題を解決する。）といった力を重点的に伸ばして参りたいと考えております。

始業式での話

～ 何がしたいのか、どうしたらいいのかを考えて。～
(本日の始業式では次のようなお話をしました。)

始業式では、1年間心にとめて学習や生活して欲しい2つのことをお話します。

1つめは、「何をしたいか?」、「どうしたらいいか?」ということを考えて学習・生活する、ということです。

学習をするときには、「かけ算九九ができるようになりたい。」、「逆上がりができるようになりたい。」、「登場人物の行動を表した文章を書いた作者が何を言いたいのか知りたい。」、「美味しい卵料理を作れるようになりたい。」など、自分がこの学習で「何をしたいのか。」を考えて欲しいと思います。

そして、その「したいこと」のために「どうしたらいいか?」、「どんな方法を使えばいいのか。」を考えて欲しいと思います。「かけ算九九ができるようになりたい。」という場合は、「同じ数の足し算を繰り返しやってみれば、かけ算ができるのではないか。」とこれまで学習したことや、経験したことを使えば、問題の答えが出せるのではないかと、課題が解決できるのではな

いかと考えるて欲しいと思います。

また生活では、「みんなが仲が良いクラスにしたい。」と思った場合に、「どうしたらいいか?」といったことを考えるて欲しいと思います。そして、仲がよいクラスにするには、「話しを聞いてもらえると嬉しいので、お互いの話しをしっかりと聞くようにするとよいのではないか。」「困っている時に助けてもらったならその人と仲良くなれたので、困っている人を助けるようにするといいのではないか。」といったことを考えるて欲しいと思います。このように生活の中でも、それまで自分がしてもらって嬉しかったことや、過去にあった経験をもとに「どうしたらいいか?」を考えることで、解決方法を見付けることができるようになります。

2つめは、元気に過ごすということです。これは昨年度と同じです。まず何より自分の命を自分で守るよう努めるということです。災害時の「お・か・し・も」(おさない、かけない、しゃべられない、もどらない)不審者にあった際の「い・か・の・お・す・し」(いかない、のらない、おおきなこえでさけぶ、すぐにげる、しらせる)、津波の時の「つなみてんでんこ」などの行動の仕方を守る、交通規則を守る、川や沼、海などには保護者の方と一緒にいく、といったことを守って欲しいと思います。病気やけがをしない生活をしましょう。そのためには廊下を走らない、遊具の使い方を守る、小まめに手洗いうがいをするといったことが大切です。さらに、学級や学年、学校全体で誰一人嫌な思いをする人、悲しい思いをする人を出さない、いじめをしないさせない、許さない、そんな白方小学校にしていきたいです。

本年度は、「『何がしたいのか?』そのために『どうしたらいいか?』を考えて学習・生活する。」、「元気に過ごす。」この2つのことを成し遂げて欲しいと思います。そして、そうした学習や生活を成し遂げる中で学んだことを生かし、どうぞ「自分もみんなも幸せだな、楽しいな、学校に来てよかったな」と思える、たくさんの笑顔がある学校をつくっていきましょう。

学校教育の理念を胸に、学校教育目標の実現へ向け、教職員一同、力を尽くして参ります。何卒よろしくお願ひいたします。(白方小学校 校長 菊地義光)

★ 本校の本年度の教職員数は次の通りです。

- ・校長1人、教頭1人、県採用教諭20人、県採用講師2人、県採用栄養技師1人、県採用養護助教諭1人、県採用事務職員2人、県採用スクールサポートスタッフ1人【計29人】
- ・村採用教職員7人(生活指導員3人、低学年支援員2人、スタディ・サポーター1人、学校図書館指導員1人)、派遣NLT2人、派遣用務手2人【計11人】 ※教科特別指導員(ICT、美術)の教職員、スクールカウンセラーは定期的に派遣されます。

